

一般社団法人日本ショッピングセンター協会
2024年度夏季定例記者懇談会



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

Index

I. 2024年上期(1～6月)SC業界の動向

II. 2024年下期(7～12月)
オープン予定のSC等商業施設

III. 協会の主な取り組み

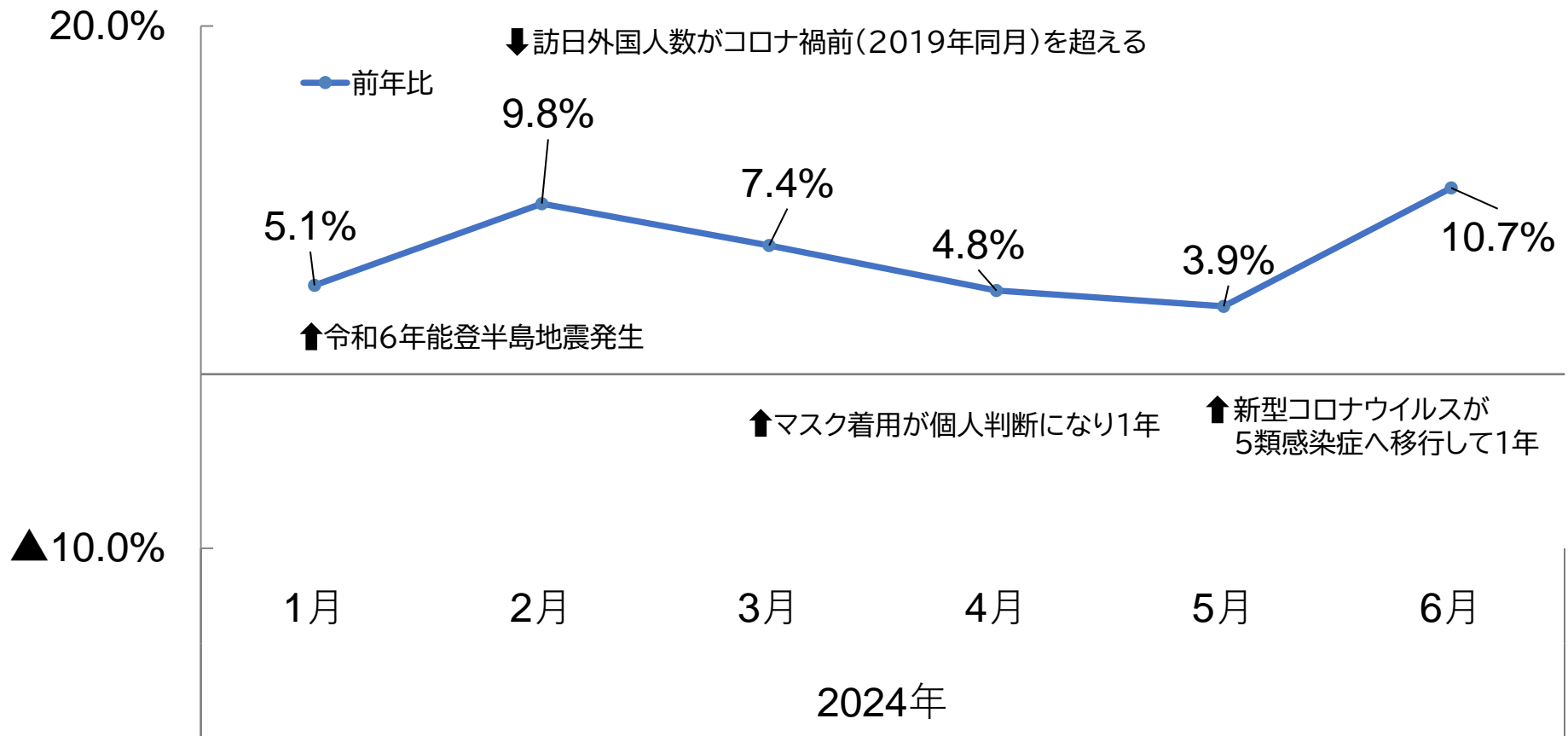
IV. その他協会活動トピック

I . 2024年上期 (1~6月) SC業界の動向

I. 2024年上期 SC業界の動向

1. 2024年上期（1～6月）SC販売統計調査報告

大都市を中心にインバウンド客の来館が増加し、前年を上回る



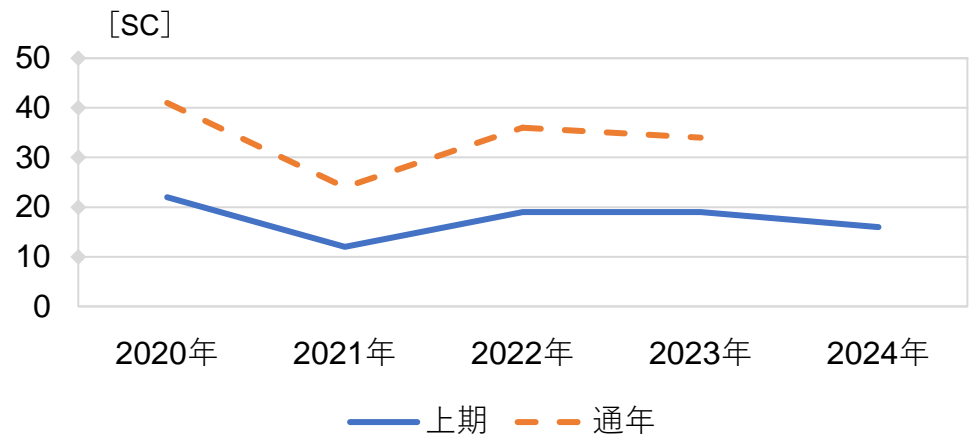
I. 2024年上期 SC業界の動向

2. 2024年上期 (1~6月) オープンSCの概要 ①

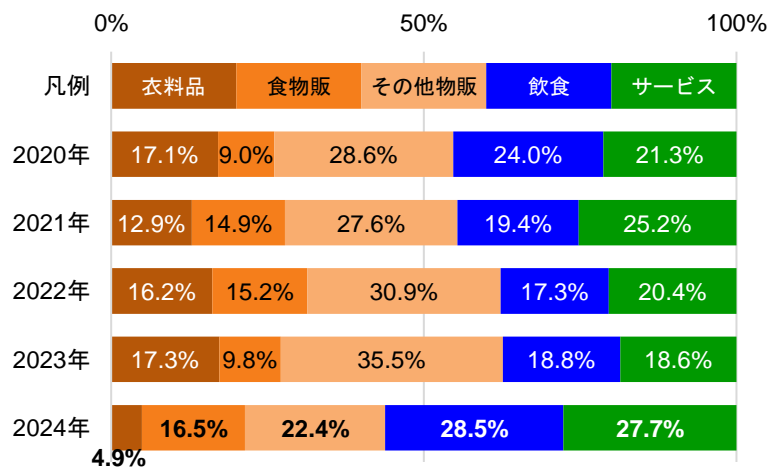
店舗面積1万㎡未満のSCが約9割
テナントは衣料品が大幅に減り、業種構成が大きく変化

上期(1~6月)					
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
SC数	22SC	12SC	19SC	19SC	17SC
平均店舗面積	15,171㎡	17,999㎡	17,566㎡	17,102㎡	6,746㎡
平均テナント数	57店舗	56店舗	49店舗	52店舗	31店舗

新規開業SC数推移(2020~2024年)



オープンSCのテナント数業種別構成比 上期(1~6月)



I. 2024年上期 SC業界の動向

2. 2024年上期（1～6月）オープンSCの概要 ②

オープンSCの主な特徴

- ① 新たな体験価値の創出と世界に向けた情報発信
- ② 環境にやさしい施設づくり

キーワード①

『新たな体験価値の創出と世界に向けた情報発信』

体験価値の充実を図るSCが増加し、とくに国際都市・東京のSCでは、新しいカルチャーを創出し、世界に向けて発信する動きがみられます。

例) 東急プラザ原宿「ハラカド」



画像提供：東急不動産(株)

原宿・神宮前エリアを世界に向けた文化創造・発信拠点とするためのまちづくりの核となる商業施設として開業。

キーワード②

『環境にやさしい施設づくり』

サステナブル社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入、リサイクルの推進など、環境にやさしい施設づくりに力を入れるSCが目立ちます。

例) ROKKO i PARK



画像提供：大栄環境(株)

環境に配慮した資源循環型商業施設の実現により、これからの商業の新しい価値の創造を目指す。

注目『令和6年能登半島地震 復旧、そして広がる復興応援の輪』

SC(ショッピングセンター)

アル・プラザ津幡

(石川県河北郡津幡町/運営:株平和堂)



画像提供: (株)平和堂

出張輪島朝市

フューチャーシティ ファボーレ

(富山県富山市/運営:富山フューチャー開発株)



画像提供: (株)北日本新聞社

能登半島地震復興支援チャリティコンサート

専門店

(株)ゴーゴーカレーグループ



画像提供: (株)ゴーゴーカレーグループ

令和6年 能登半島地震 復興ゴーゴープロジェクト

(株)イオンファンタジー



画像提供: (株)イオンファンタジー

被災地の保育園への訪問活動

Ⅱ. 2024年下期 (7~12月) オープン予定のSC等商業施設

18施設がオープン予定。来年の万博開催をひかえた大阪が最多の4施設

<主なSC等商業施設>

オープン予定

18施設

撮影:伊藤 彰/アイフォト
画像提供:日本郵政不動産(株)



KITTE大阪
(7月31日開業/大阪府大阪市北区)

画像提供:(株)ジャパネットホールディングス



長崎スタジアムシティ
(10月14日開業/長崎県長崎市)

画像提供:(株)モナカ



monaka
(7月11日開業/岩手県盛岡市)

画像提供:
(株)西武リアルティソリューションズ



エミテラス所沢
(9月24日開業/埼玉県所沢市)

画像提供:イオンリテール(株)



そよら成田ニュータウン
(7月19日開業/千葉県成田市)

画像提供:
(株)相鉄アーバンクリエイツ
(株)相鉄ビルマネジメント



ゆめが丘ソラトス
(7月25日開業/神奈川県横浜市泉区)



Ⅲ. 協会の主な取り組み

1. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞
2. 人材確保の取り組み
 - (1) 人材確保対策特別委員会
 - (2) デジタルトランスフォーメーション委員会

1. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞 ①

優れたSCを顕彰する『日本SC大賞・地域貢献大賞』

日本SC大賞とは

(2004年創設)

今後のSCのあり方や社会的役割を示唆するSCを顕彰することによって、SC業界の一層の発展に寄与することを目的に創設

➡ 金賞受賞SCには経済産業省より「**商務・サービス審議官賞**」が授与される

地域貢献大賞とは

(2008年創設)

当協会が策定した地域貢献ガイドラインを基に、地域活性化に取り組み、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを顕彰する目的に創設。特に優れたSCには、協会2代目会長でSC業界の礎を築いた故倉橋良雄氏の名を冠した「**倉橋良雄賞**」を授与。

➡ 特に優れたまちづくりに貢献しているSCには国土交通省より「**都市局長賞**」が授与される

<参考/前回(2023年)受賞>

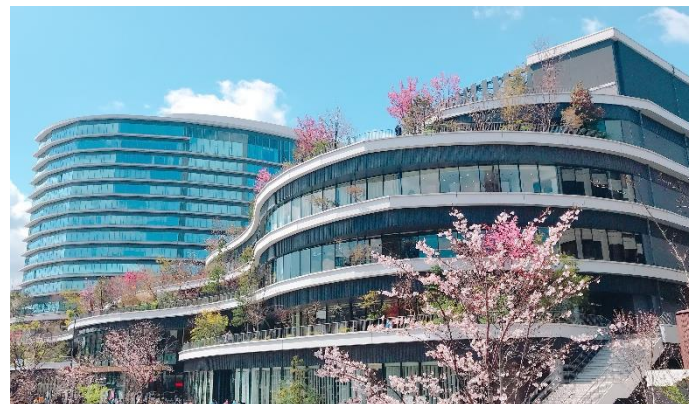
第9回日本SC大賞・金賞
経済産業省商務・サービス審議官賞

新静岡セノバ



第7回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)
国土交通省都市局長賞

SAKURA MACHI Kumamoto



1. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞 ②

2024年7月よりエントリーSCの募集を開始。2025年4月に各賞が決定！



第10回 日本SC大賞

第8回 地域貢献大賞

エントリーSC募集

応募期間

2024年7月16日(火)～

8月31日(土)23時59分まで

<選考対象と評価期間>

選考対象：2023年12月末までにオープンした
3,092SC

評価期間：2022年7月～2024年6月までの2年間

<選考スケジュール>

募集期間：7月16日(火)～8月31日(土)

発表：2025年4月

表彰式：2025年5月（予定）

2. 人材確保の取り組み

(1) 人材確保対策特別委員会

(2) デジタルトランスフォーメーション委員会

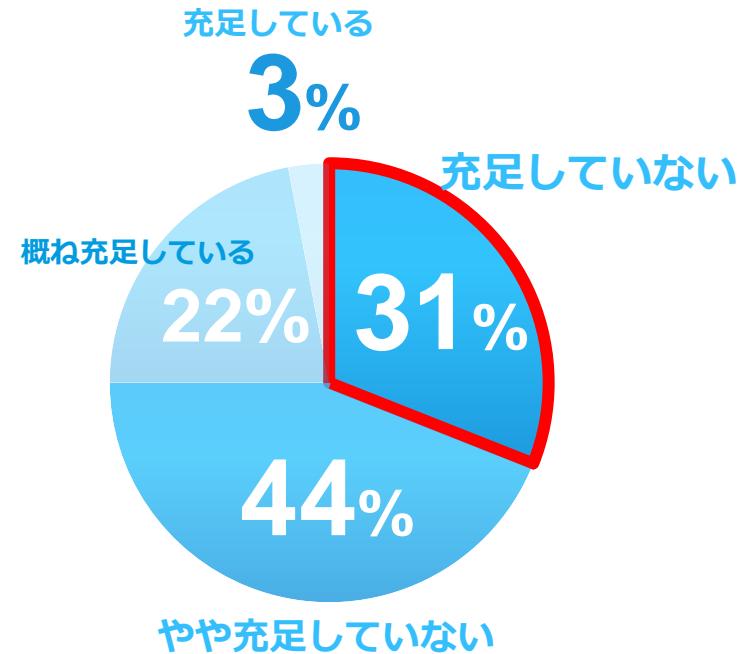
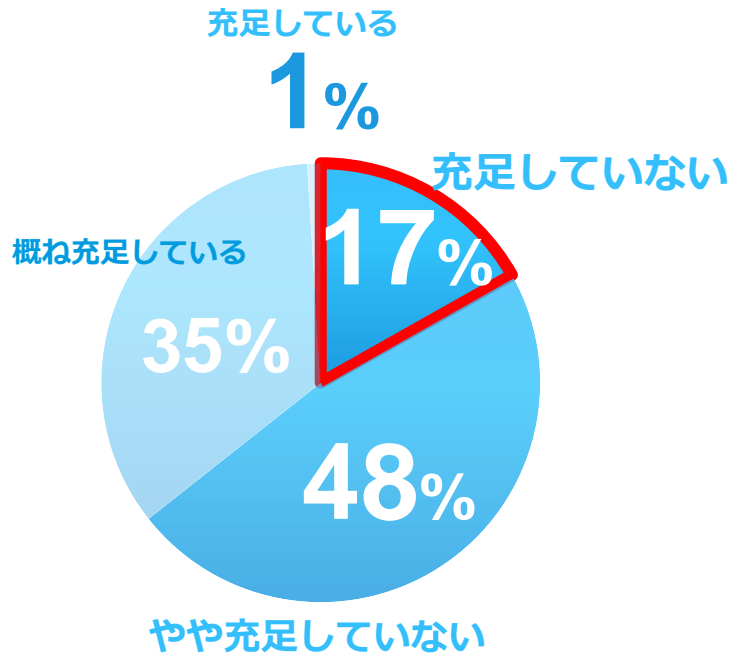
(1) 人材確保対策特別委員会 ①

コロナ禍からの回復とともに
厳しさを増すテナント従業員不足

テナント従業員の充足度

2022年度調査

2023年度調査

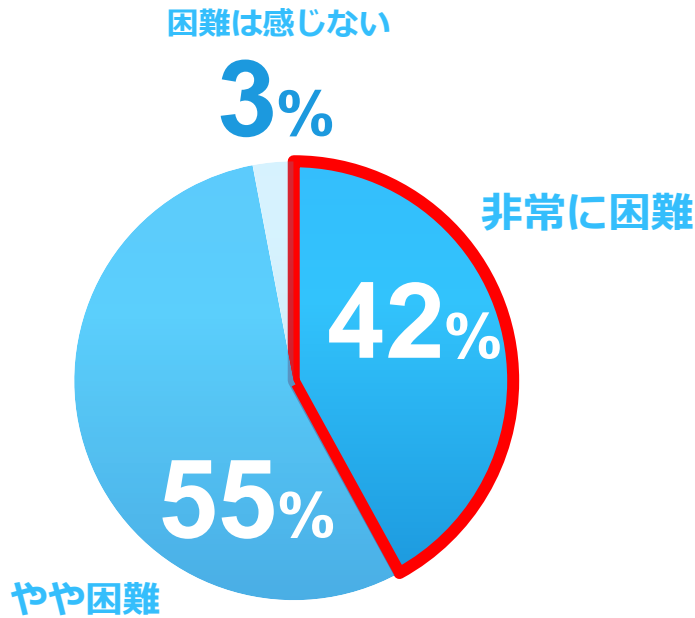


(1) 人材確保対策特別委員会 ②

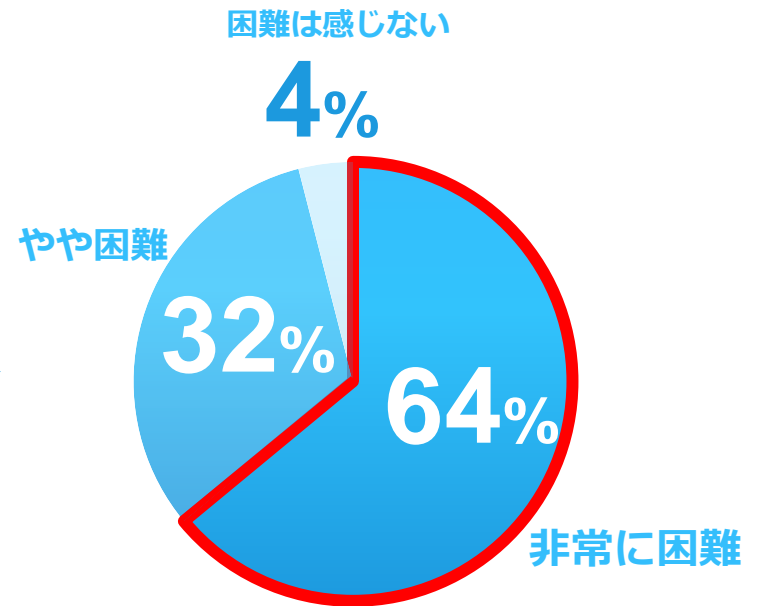
コロナ禍からの回復とともに
厳しさを増すテナント従業員採用

テナント従業員の採用困難度

2022年度調査



2023年度調査



(1) 人材確保対策特別委員会 ③

ショッピングセンターにおけるES宣言

- 1.ES向上に向けたディベロッパーとテナントの積極的協力
- 2.SCで働く魅力の向上と発信
- 3.従業員のワークライフバランス確保と地位向上
- 4.従業員の業務負担軽減と生産性の向上
- 5.ES向上・人材確保に向けたS C協会の積極的関与

(1) 人材確保対策特別委員会 ④

ディベロッパーとテナントによる意見交換会

重点取組

人手不足解決に向けた対話による量的・質的改善

実施率100%
を目指す

【具体的取り組み】

SC毎に、ディベロッパーとテナントが課題有無を確認、課題解決に向けた対話とフィードバックを実施

+

対話における**重点項目**

(具体的な取り組みは各SCの集客実態や地域特性を鑑みて柔軟に対応)

営業時間の最適化

【推奨する取り組み】

営業時間のフレックス制 / 閑散期の営業時間短縮 / アイドルタイム休業 など

休館日の弾力的運用

【推奨する取り組み】

元日休館 / 全館休業日数増 / テナント任意休業日や半休 など

働く人に選ばれる環境の整備

【推奨する取り組み】

従業員同士のコミュニケーション機会創出 / 従業員休憩室等の整備 / 業務の省力化やIT導入 など

安全に働ける環境の整備

【推奨する取り組み】

災害時の早期判断・連絡体制 / カスタマーハラスメントへの対応 / 夜間の従業員駐車場の安全確保
など 各SCで点検し課題を抽出

(2) デジタルトランスフォーメーション委員会 ①

「売上報告の効率化に向けた提言」を公表

報告項目数の絞り込みとペーパーレスの推進を軸とした業務標準化案をSC業界に提言

2022年5月 売上報告の効率化に向けた提言(第1弾)を公表

▶課題の整理、解決の機運醸成を図る

テナント

増大するテナント従業員の
役割や業務量

- 接客以外の業務
- 新サービスへの対応
- お客様の声
- 店舗従業員数
- 店舗内コミュニケーション



ディベロッパー

2022年の提言発表以降も
効率化に向けた抜本的な
解決には至らず

- 売上報告内容の精査に多大な時間
- 紙で提出される証憑類や金券の配送/保管コストが発生

2024年5月 売上報告の効率化に向けた提言(第2弾)を公表

▶業務標準化案を提言

(2) デジタルトランスフォーメーション委員会 ②

- テナント報告値を正とする思想へ転換

報告項目数

純売上

売上控除

約20項目 ⇒ 4項目

商品券類

レジ客数

- ✓ ディベロッパーによる照合作業の見直し

- ◆ 全項目の精査/検算から、誤計上や異常値の確認に特化する手法へ移行

- その他、ペーパーレス(紙金券の電子化/廃止等)等負担軽減に資する取り組み

- ✓ ペーパーレスの推進

- ◆ ディベロッパー発行の紙金券の電子化/廃止

- ◆ 紙で作成、提出する日報の廃止

- ✓ ヒューマンエラーの最少化

- ◆ テナント持ち込みレジとディベロッパーが貸与するクレジット等の決済端末の連携推進

2024年9月以降、売上報告の担当者を集めた勉強会を全国(仙台、東京、大阪、福岡)で開催。提言の普及に取り組む。

Ⅲ. 協会の主な取り組み 2. 人材確保の取り組み

(2) デジタルトランスフォーメーション委員会 ③

現状

テナント

【営業時間中】
会計

- ・商品登録
- ・割引処理
- ・金種登録
- ・ポイント処理
- ・カード決済



【営業終了後】
レジ締め・売上報告

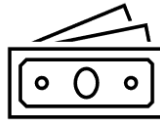
集計作業



売上送信
端末に
金額等入力



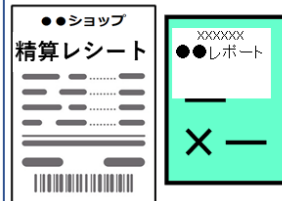
提出物まとめ
日報作成



〇〇カード
XX,XXX円

〇〇C
金券

日報



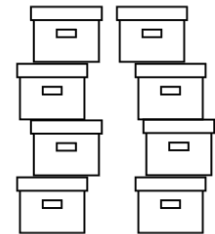
クレジット
カード
売上票

項目	金額
現金売上	XXX円
クレジット	XXX円
商品券	XXX円
総売上	XXX円
消費税	XXX円
売上控除	XXX円
純売上	XXX円
客数	XXX人

ディベロッパー

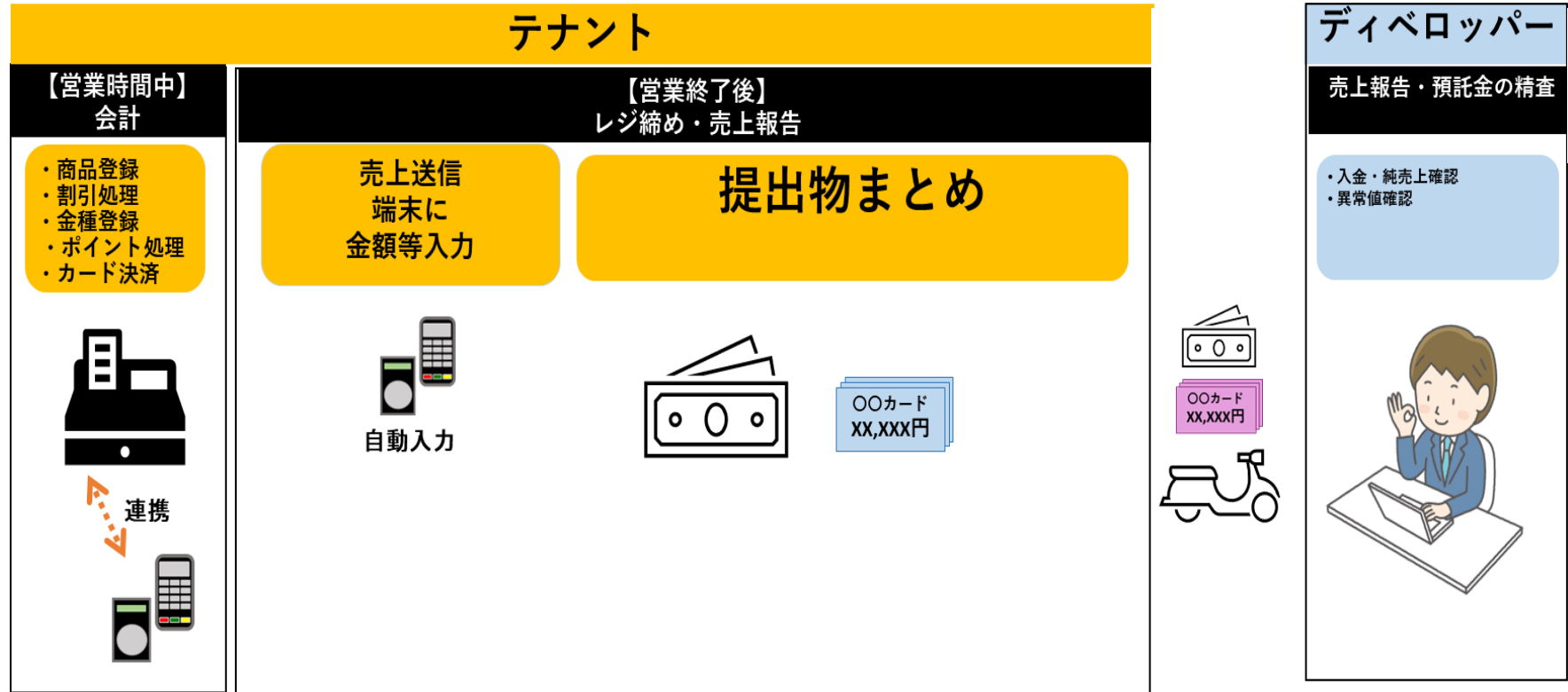
売上報告・預託金の精査

- ・売上報告の精査、預託金の照合



(2) デジタルトランスフォーメーション委員会 ④

提言内容の実現後



次の目標として、テナント従業員による売上報告業務時間「ゼロ」を掲げ、売上報告のデジタル化環境の整備に向けた議論に着手する。

IV. その他協会活動トピック

1. 第30回SC接客ロールプレイングコンテスト
2. SCビジネスフェア2025
3. SC経営士会

IV. その他協会活動トピック

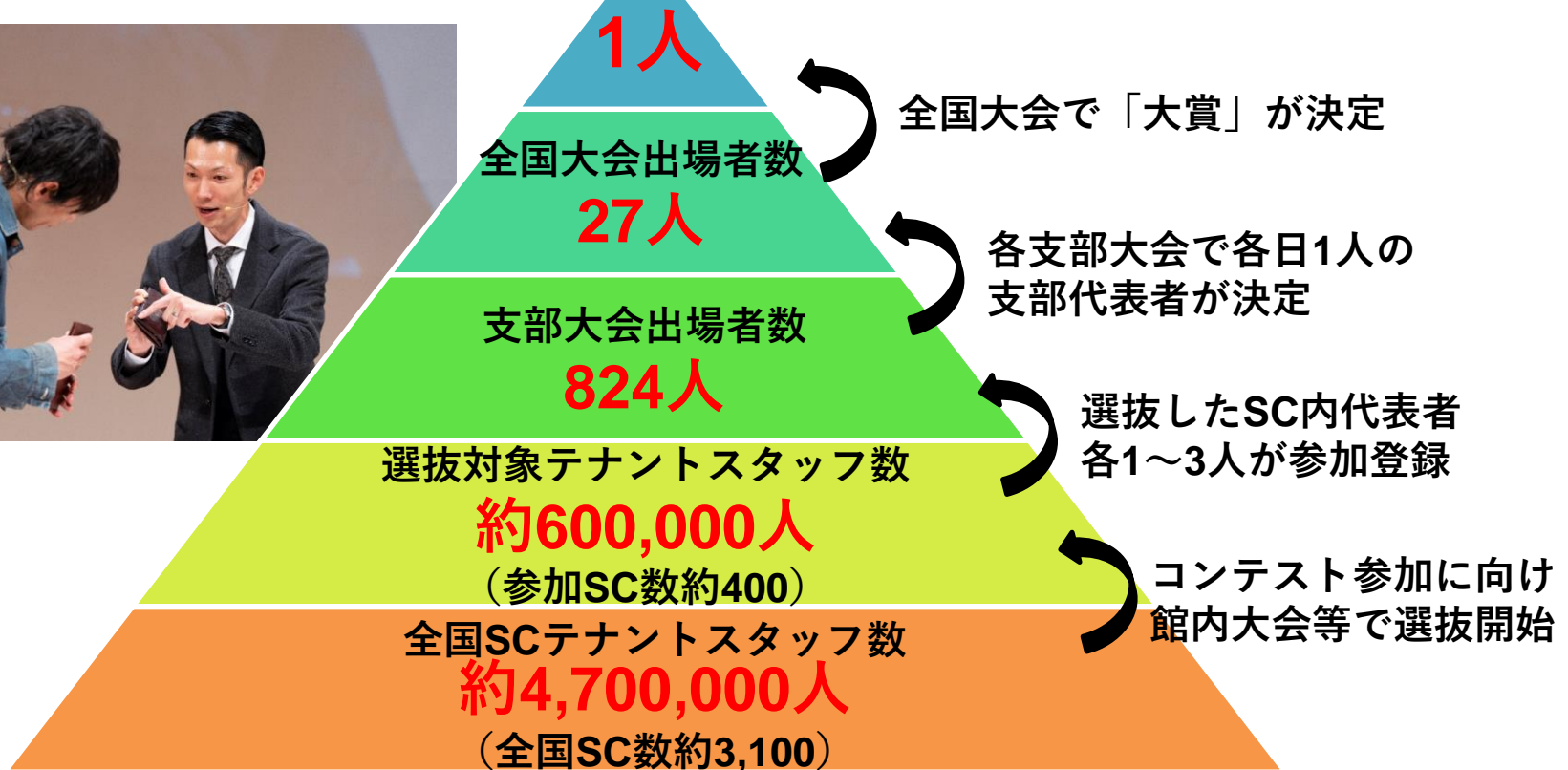
1. 第30回SC接客ロールプレイングコンテスト ①

「SC接客ロールプレイングコンテスト」は第30回記念大会として開催

全国のSCで働くテナントスタッフ約470万人の頂点となる

「大賞」=“SC接客日本一”を目指して9月より支部大会がスタート！

大賞(経済産業大臣賞) = SC接客日本一



IV. その他協会活動トピック

1. 第30回SC接客ロールプレイングコンテスト ②

2025年1月24日(金)にパシフィコ横浜にて全国大会を開催
卓越した接客技術を披露

前回「第29回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」の様子



IV. その他協会活動トピック

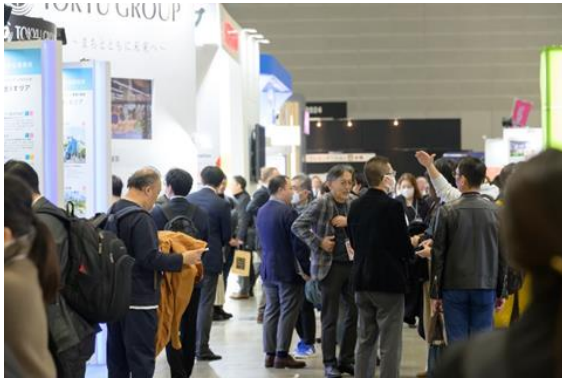
2. SC ビジネスフェア2025

「ビジネスチャンスの創出」「研鑽と交流の場」を提案！

会期:2025年1月22日(水)~24日(金) 会場:パシフィコ横浜

SCビジネスフェアとは

SC関係者が一堂に集まる業界唯一の商談展示会



👁️注目のコンテンツ

SCの未来を創造するビジネスコンテスト

「チャレンジピッチ2025」

協会創立50周年記念事業としてスタートしたチャレンジピッチは、
今回で第3回目。

SCの未来に向けて、さまざまな新事業をピッチ形式で提案。

3. SC経営士会 ①

協会のシンクタンクの役割を担う「SC経営士会」

SC経営士とは

SC業界唯一の認定資格

資格保有者数:約830人(2024年4月時点)

SC経営士会とは

SC経営士資格保有者で組織

- ・SC経営士相互の研鑽と交流
- ・SC業界が抱える課題解決に向けた研究
- ・専門的な見地から広範にわたりSC業界の発展、協会活動の支援

■協会のシンクタンクの役割■

例) 大学への寄附講座「SC冠講座」
～SC経営士会による
カリキュラム策定および講師派遣～

※これまで延べ47校・8,070名が受講



3. SC経営士会 ②

“SCの未来像”の研究を土台とした独自のアイデアソンを開催

2022年度 “SCの未来像”の研究(全8回) ■当協会WEBサイト「SC経営士会」ページにて研究動画を配信中■

「マーケティング」「ESG」「DX・メタバース」「地域活性」「ディベロッパーとテナントの関係」の5つの切り口で、SCの未来像について研究を行う

2023年度 【協会創立50周年記念】SC経営士会&支部“SCの未来像”セミナー

全国7会場で開催された50周年記念セミナーにて“SCの未来像”の研究結果を発表

2024年度 “SCの未来像”共創に向けた 独自のアイデアソンを開催

研究の5つの切り口から課題意識のあるテーマにエントリー

チームに分かれテーマごとにSCの未来に対する提案を個別討議

ビジネスフェアにおいて最終成果について発表

「企業の枠を超えた参加者同士のアイデアを結集しSC業界の課題解決につなげる」
「自社に持ち帰り既存ビジネスのイノベーションを起こす」を目指します